

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000045
事業所名	グループホーム はるた

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	日常の散歩で近隣の人と挨拶を交わしたり、いきいき支援センターから相談を受けた独居高齢者の見守りを実施する等地域の一員として事業所が役立っている。年1回は老人会の手品のボランティア・実習生や中学生の職場体験を受け入れるなど、事業所から積極的に関わりを持っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は年6回開催している。事業所の現状報告だけでなく、事業所での生活全般を知ってもらえるように避難訓練や日常の様子をみてもらっている。また、事業所の利用者がテレビ出演した実例を基に「レビー小体型認知症」の話や看取りの取組みを紹介して、参加者との活発な質疑応答や意見情報交換を行うことで参加者も事業所にとっても有意義な場となっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区役所訪問時には事業所の報告を行い、対応の難しい人達の対応や入居相談にも応じて協力関係構築に努めている。管理者は認知症専門部に統しており、行政とも顔なじみの関係にあり、地域を中心に各種研修の講師として講習会や研修で活躍している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	意見箱を設置したり、家族の面会時にはコミュニケーションを図りながら、意見や要望を引き出せるようきめ細やかな対応に努めている。生活保護受給者が多いため家族会は開催していないが、アンケート結果から「職員の対応のよさ」や「元気になった」との声があり、家族としっかりと信頼関係が構築され満足している様子が伺える。出された事柄に対しては利用者の立場にたった個別支援実践に取り組んでいる。年4回「はるた通信」を発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。